

『九州文化史研究所紀要』 文献目録

1951年 第1号～2023年 第66号 (九州大学附属図書館付設記録資料館九州文化史資料部門発行)

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
1	中世末・近世初頭における對馬宗氏の朝鮮貿易	森 克己	1951	1
2	對馬藩の商業と生産方	宮本 又次	1951	1
3	對馬に於ける奴婢と被官	檜垣 元吉	1951	1
4	封馬村落の研究(一): 對馬西岸舊神社領村落の社會構造	喜多野 清一	1951	1
5	對馬の古文書: 慶長以前の御判物	竹内 理三	1951	1
6	九州經濟史に於ける特殊構造: 對馬經濟と九州經濟	宮本 又次	1951	1
7	近世天草の人口問題とその背景	檜垣 元吉	1952	2
8	文化年間における天草のキリシタン	古野 清人	1952	2
9	天領天草の商業と問屋	宮本 又次	1952	2
10	天草の海外出稼女の研究	森 克己	1952	2
11	物資の移出入をつうじて見たる天草の經濟事情	岡橋 保	1952	2
12	天草漁村の實体調査: 特に下島西海岸及び北海岸地帯	高田 源清	1952	2
13	肥後の古文書(一): 慶長以前	竹内 理三	1952	2
14	近世天草に於ける農民運動	檜垣 元吉	1954	3/4
15	天草村落の社會動態: 第一部	内藤 莞爾	1954	3/4
16	天草石本家研究の意義と九州在郷商業資本の性格	宮本 又次	1954	3/4
17	石本家略史	吉田 道也	1954	3/4
18	石本家の土地經營: 文化十二年を中心として	藤本 隆士	1954	3/4
19	近世長崎に於ける貿易業: 石本家を中心として	大村 要子	1954	3/4
20	石本家と寛政八年の「百姓相続方仕方」	服藤 弘司	1954	3/4
21	石本家の經營形態に関する一考察	秀村 選三	1954	3/4
22	石本家文書目録抄		1954	3/4
23	肥後の古文書(二): 慶長以前	竹内 理三	1954	3/4
24	天草島における家族制度	舟橋 諄一・青山 道夫・中川 高男	1954	3/4
25	村方商人の性格と製蠟業: 天領天草郡石本家を中心として	篠藤 光行	1954	3/4
26	生月のキリシタン部落: 特にその祭祀組織について	古野 清人	1956	5
27	近世大名領國における夫役の諸形態: 福岡藩について	秀村 選三	1956	5
28	長崎貿易仕法改変の意義	筋内 健次	1956	5
29	舶来品市場における幕府独占機構崩壊に関する覚書(上): 九州諸藩の市場進出をめぐって	武野 要子	1956	5
30	筑前の古文書(一): 慶長以前	竹内 理三	1956	5
31	郷土手作における畑作の態様: 幕末薩藩郷士の農業經營と下人(二)	秀村 選三	1958	6
32	領主の財政に関する一資料	三木 俊秋	1958	6
33	郷土所有地に於ける小作関係について: 大隅国鹿屋郷野田家の場合	桑波田 興	1958	6
34	對馬村落の研究(二): ソシ考	喜多野 清一・中村 正夫	1958	6
35	筑前の古文書(二): 慶長以前	竹内 理三	1958	6
36	秋月藩の島原陣屏風	檜垣 元吉	1959	7
37	佐賀藩多久領給人知行地の一側面	三木 俊秋	1959	7
38	近世初期肥後国衆一揆の構造: 天正十五年検知反対一揆	森山 恒雄	1959	7
39	筑後の古文書: 慶長以前	竹内 理三	1959	7
40	三奈木黒田家文書(一)	九州大学九州文化史研究所	1959	7

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
41	油座の一二について	長沼 賢海	1961	8/9
42	高野山詣で	新城 常三	1961	8/9
43	鎮西奉行考	瀬野 精一郎	1961	8/9
44	薩摩藩におけるキリシタン穿鑿	森 克己	1961	8/9
45	細川幽斎の文学生活：慶長初年	中村 幸彦	1961	8/9
46	大友氏家臣団についての一考察	桑波田 興	1961	8/9
47	佐賀藩「均田制度」に関する覚書	山田 龍雄	1961	8/9
48	「遠島」地天草	服藤 弘司	1961	8/9
49	近世前期肥後における「上方抱下し者」：宇土細川藩を中心として	秀村 選三	1961	8/9
50	肥後国天草島における漁村の成立と展開：「舸子役」を中心として	中村 正夫	1961	8/9
51	九州諸藩と鴻池両替商資本：大名貸に関する基礎的研究	作道 洋太郎	1961	8/9
52	山割制度とその変遷	原田 敏丸	1961	8/9
53	村方商人石本家の帳簿組織：天領天草御領村における	藤本 隆士	1961	8/9
54	糸割符史料の研究：糸割符利潤の問題を中心に	武野 要子	1961	8/9
55	明治初期の正貨の打歩について：混合流通下の金銀価格の騰落	岡橋 保	1961	8/9
56	第十八国立銀行の貿易商人的性格：荷為替業務を中心として	伊丹 正博	1961	8/9
57	同族における系譜関係の意味	喜多野 清一	1961	8/9
58	筑前宗像の一家事記録	古野 清人	1961	8/9
59	黒田藩と大阪との関係史料紹介	宮本 又次	1961	8/9
60	武谷家所蔵蘭学者書翰の紹介：長崎医学校関係	井上 忠	1961	8/9
61	佐賀藩多久領における小物成方支配に関する資料	三木 俊秋	1961	8/9
62	大宰府・博多 年表 上世篇	竹内 理三	1961	8/9
63	ポルトガル・トルレ・ド・トンボ文書館所蔵「モンズーン」文書所収極東関係文書目録	筋内 健次	1961	8/9
64	九州探題今川了俊の文学活動：中世文化論のための一素材として	川添 昭二	1963	10
65	嬉野における茶業の発展過程	久保山 千里	1963	10
66	武谷祐之著『南柯一夢』	井上 忠	1963	10
67	三奈木黒田家文書（二）	九州大学九州文化史研究所	1963	10
68	筑前国衙の研究	長沼 賢海	1966	11
69	中世前期に於ける西国・東国間の文化交流とその前提	新城 常三	1966	11
70	鎌倉・南北朝時代における少弐氏の所領	川添 昭二	1966	11
71	藩校教育における時務の概念：九州諸藩の場合	井上 義巳	1966	11
72	幕藩制後期における大名の財政構造	藤野 保	1966	11
73	薩摩藩における宗門手札改と一向宗禁制：幕末期大隅国高山郷について	秀村 選三	1966	11
74	武谷祐之著『南柯一夢』巻之二地の巻	井上 忠	1966	11
75	実録体小説黒田騒動の成立	中村 幸彦	1967	12
76	筑前蘭学事始考：青木興勝の事歴を通じて	杉本 勲	1967	12
77	文化年間における長崎の西洋（蘭・仏・英）文法論	井田 好治	1967	12
78	鯨油の流通と地方市場の形成	藤本 隆士	1967	12
79	銀券保証発行制度の展開	岡橋 保	1967	12
80	天草の村明細帳	中村 正夫	1967	12
81	福岡市（博多）聖福寺発見の遺物について：大陸船載の陶磁と銀鋳	岡崎 敬	1968	13

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
82	永禄末期大友氏の軍事組織：戸次鑑連を中心として	木村 忠夫	1968	13
83	寛永鎖国についての一考察	箭内 健次	1968	13
84	醇儒安東省菴	山室 三良	1968	13
85	辺境相良藩と領外資本の関係：芋の専売化をめぐる	武野 要子	1968	13
86	カトリック家族の相続慣行：長崎県黒島	内藤 莞爾	1968	13
87	幕末の藩政治と維新への対応形態	藤野 保	1969	14
88	玄洋社の成立について	西尾 陽太郎	1969	14
89	西九州農村の末子相続	内藤 莞爾	1969	14
90	佐々家文書について：特に海(開)運会社関係	中元 美智子	1969	14
91	楠本端山書翰	岡田 武彦	1969	14
92	武谷祐之「南柯一夢」巻之三 人の巻 附録	井上 忠	1969	14
93	江戸時代における元寇研究	川添 昭二	1970	15
94	近世における櫛樹栽培技術の成立と展開	野口 喜久雄	1970	15
95	佐賀藩蘭学史の研究：精煉方の動向を中心に据えて	杉本 勲	1970	15
96	古代の日田：日田盆地の考古学	小田 富士雄	1970	15
97	咸宜園をめぐる政治情勢：咸宜園と日田代官府との関係	井上 義巳	1970	15
98	THE POLITICAL RELATIONSHIP BETWEEN THE BAKUFU AND THE HAN	FUJINO Tamotsu	1970	15
99	日田周辺における古代の歴史地理学的研究	日野 尚志	1971	16
100	豊後日田氏について	川添 昭二	1971	16
101	九州における幕藩領主支配の特質（一）：統一権力の九州支配と対応	藤野 保	1971	16
102	近世日田農村史の若干の問題点	木村 忠夫	1971	16
103	対馬藩田代領における銀会所・生蠟会所と日田商人	長野 暹	1971	16
104	「内平均免」を通してみた府内藩財政々策について：天保改革の前提の考察	安藤 保	1971	16
105	近世前期における九州天領の支配形態	藤野 保	1972	17
106	鍋島氏の貿易に関する一、二の資料	武野 要子	1972	17
107	近世長崎における貿易利銀の戸別配当	中村 質	1972	17
108	幕末における福岡藩財政改革と日田商人広瀬家	木原 溥幸	1972	17
109	「積書」より見た広瀬家の経営	野口 喜久雄	1972	17
110	史料紹介 千原幸右衛門家日記（一）	木村 忠夫	1972	17
111	鎮西談議所	川添 昭二	1973	18
112	幕藩制転換期における九州天領：田沼期幕政との関連を通じて	藤野 保	1973	18
113	対馬方言の性格	奥村 三雄	1973	18
114	対馬美術調査概報（第一次）	谷口 鉄雄	1973	18
115	近世関所及び番所の研究（一）	丸山 雍成	1974	19
116	幕藩制下における天領と藩との関係史的考察：天領日田の商業資本と九州諸藩	藤野 保	1974	19
117	薩摩藩文化朋党事件とその歴史的背景	黒田 安雄	1974	19
118	象徴としての都市とスポーツ感覚についての試論（上）	鈴木 広	1974	19
119	長崎県・佐賀県・熊本県における「古鏡」発見地名表稿	岡崎 敬	1974	19
120	百済系単弁軒丸瓦考・二：九州発見朝鮮系古瓦の研究（三）	小田 富士雄	1975	20
121	大友義鎮の入道と府内・臼杵	外山 幹夫	1975	20
122	参勤交代制の研究(一)：その序説編	丸山 雍成	1975	20

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
123	薩摩藩天保改革の基礎的研究（一）	黒田 安雄	1975	20
124	亀井南冥の役藍泉あて書簡	井上 忠	1975	20
125	山門郡の考古学	西谷 正	1976	21
126	大宰府前史小論	田村 圓澄	1976	21
127	参勤交代制の研究（二）：九州諸藩を中心として（1）	丸山 雍成	1976	21
128	筑前秋月藩の漢学と教育：秋月郷土館蔵漢籍管窺	岡村 繁	1976	21
129	徳川斉昭小論	山口 宗之	1976	21
130	幕末期佐賀藩の財政構造について	木原 溥幸	1976	21
131	佐賀開進会の成立過程	杉谷 昭	1976	21
132	竜造寺領国の形成過程と国人領主の動向	藤野 保	1977	22
133	佐賀藩財政成立過程に関する若干の考察（一）	長野 暹	1977	22
134	古賀穀堂の学政論：佐賀藩における政治と教育の関係	井上 義巳	1977	22
135	長崎会所と安政開港：その勘定帳をめぐる諸問題	中村 質	1977	22
136	明治初年における対外政策と士族反乱	杉谷 昭	1977	22
137	五島の分牌式隠居慣行	内藤 莞爾	1977	22
138	刷毛目調整工具に関する基礎的実験	横山 浩一	1978	23
139	幕末における九州の万葉学：種信と廣足	春日 和男	1978	23
140	九州諸方言アクセントの系譜	奥村 三雄	1978	23
141	九州探題の衰滅過程	川添 昭二	1978	23
142	竜造寺家臣団の構成とその特質（一）：天正八年着到帳の分析を中心として	藤野 保	1978	23
143	参勤交代制の研究（四）：九州諸藩を中心として（3）	丸山 雍成	1978	23
144	佐賀藩財政成立過程に関する若干の考察（二）	長野 暹	1978	23
145	佐賀藩家臣団の構造（一）	黒田 安雄	1978	23
146	佐賀藩確立期における政治過程および政治形態	藤野 保	1979	24
147	島原の乱と佐賀藩	中村 質	1979	24
148	佐賀藩家臣団の構造（二）	黒田 安雄	1979	24
149	参勤交代制の研究（五）：九州諸藩を中心として（4）	丸山 雍成	1979	24
150	佐賀藩川副下郷における商人地主の台頭について	小宮 睦之	1979	24
151	刷毛目技法の源流に関する予備的検討	横山 浩一	1979	24
152	駅路考：西海道・南海道の場合	日野 尚志	1979	24
153	西国における惣領制の特質：大友氏を中心として	外山 幹夫	1979	24
154	佐賀藩における三支藩の成立過程（一）	藤野 保	1980	25
155	佐賀城と佐賀城下町の成立	池田 史郎	1980	25
156	佐賀藩初期の検地と知行政策	黒田 安雄	1980	25
157	佐賀藩徴租法に関する若干の考察	長野 暹	1980	25
158	佐賀藩における交通と商品流通（一）	丸山 雍成	1980	25
159	鐘崎式土器について	西 健一郎	1980	25
160	北部九州における群集墳の推移	佐田 茂	1980	25
161	日田・千原家の経営とその推移	楠本 美智子	1980	25
162	須恵器に見える車輪文叩き目の起源	横山 浩一	1981	26
163	南朝塚墓よりみた百済・新羅文物の源流	小田 富士雄	1981	26
164	高麗・朝鮮両王朝と琉球の交流：その考古学的研究序説	西谷 正	1981	26
165	竜造寺体制の展開と知行構造の変質	加藤 章	1981	26
166	佐賀藩における三支藩の成立過程（二）	藤野 保	1981	26
167	佐賀藩における知行地の存在形態	黒田 安雄	1981	26

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
168	佐賀藩における交通と商品流通（二）	丸山 雍成	1981	26
169	明治初期旧佐賀藩出身政府官僚の統計的分析試論（一）	毛利 敏彦	1981	26
170	九州文化史研究施設とその所蔵史料（1）	九州大学九州文化史研究施設	1981	26
171	キリシタンのオラシヨ	野村 暢清	1981	26
172	斉藤山遺跡出土刻目突帯文土器の再検討	西 健一郎	1982	27
173	佐賀県横枕における大甕の成形技術：現存する叩き技法の調査	横山 浩一	1982	27
174	韓国・甕器店の作業過程について	鄭 明鎬・Rodger I. Eddy・藤口 健二	1982	27
175	造石山寺所、公文案帳の復原	岡藤 良敬	1982	27
176	高知藩における交通路と送番所	丸山 雍成	1982	27
177	福岡藩の天保改革	柴多 一雄	1982	27
178	対馬宗家文庫漢籍（朝鮮本）提要	岡村 繁	1982	27
179	佐賀藩中期における権力構造と政治形態（一）	藤野 保	1982	27
180	九州文化史研究施設とその所蔵史料（2）	九州大学九州文化史研究施設	1982	27
181	佐賀藩中期における権力構造と政治形態（二）	藤野 保	1983	28
182	享保期における佐賀藩政の展開（一）	柴多 一雄	1983	28
183	佐賀藩における水利慣行形成に関する一考察：芦刈水道をめぐる佐賀藩と支藩小城藩の交渉について	長野 暹	1983	28
184	長崎会所と藩貿易	黒田 安雄	1983	28
185	下江津湖湖底遺跡出土刻目突帯文土器の検討（一）	西 健一郎	1983	28
186	“大化薄葬令”に規定された墳丘の規模について	横山 浩一	1983	28
187	九州・沖縄出土の朝鮮産陶磁器に関する予察	西谷 正	1983	28
188	熊本・球磨地方美術調査概報（上）	平田 寛・菊竹 淳一	1983	28
189	九州文化史研究施設とその所蔵史料（3）	九州大学九州文化史研究施設	1983	28
190	玄界灘式製塩土器（上）	横山 浩一	1984	29
191	福岡市海の中道遺跡出土自然遺物の検討	山崎 純男	1984	29
192	弥生・古墳時代の九州型石錘について：玄海灘海人の動向	下條 信行	1984	29
193	滑石製石鍋出土地名表（九州・沖縄）	下川 達彌	1984	29
194	九州出土の朝鮮産陶質土器について	西谷 正	1984	29
195	熊本・球磨地方美術調査概報（下）	平田 寛・菊竹 淳一	1984	29
196	九州文化史研究施設とその所蔵史料（4）	九州大学九州文化史研究施設	1984	29
197	享保期における佐賀藩政の展開（二）	柴多 一雄	1984	29
198	初期糸割符制をめぐる諸問題	中村 質	1985	30
199	有田焼の生成・発展と流通構造（一）：その若干の素描	丸山 雍成	1985	30
200	嘉永期福岡藩における財政の諸策：広瀬立案の財政改革案をめぐる	安藤 保	1985	30
201	ペリー来航予告をめぐる若干の考察	山口 宗之	1985	30
202	佐賀藩における藩政改革の基調（一）	藤野 保	1985	30
203	史料紹介・田辺納関係文書：昭和一三年の全農分裂問題を中心に	有馬 学	1985	30
204	下江津湖湖底遺跡出土刻目突帯文土器の検討（二）	西 健一郎	1985	30
205	玄界灘式製塩土器（中）	横山 浩一	1985	30
206	新安海底発見の木簡について	西谷 正	1985	30
207	九州文化史研究施設とその所蔵史料（5）	九州大学九州文化史研究施設	1985	30
208	唐津市宇木汲田遺跡における一九八四年度の発掘調査	田崎 博之	1986	31

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
209	宇木汲田遺跡一九八四年度調査出土の土器について：刻目突帯文土器を中心に	横山 浩一・藤尾 慎一郎	1986	31
210	日本稲作受容期の大陸系磨製石器の展開：宇木汲田貝塚一九八四年度調査出土石器の報告を兼ねて	下條 信行	1986	31
211	北部九州における弥生文化の出現序説：水稲農耕文化伝来をめぐる日韓交渉	小田 富士雄	1986	31
212	新安海底発見の木簡について（続）	西谷 正	1986	31
213	葉隠の成立と基調	池田 史郎	1986	31
214	佐賀藩における藩政改革の基調（二）	藤野 保	1986	31
215	佐賀藩天保改革に関する一考察	木原 溥幸	1986	31
216	幕末佐賀藩における農政の展開とその基調：「均田制」を中心として	梶原 良則	1986	31
217	幕末期における佐賀藩家臣団の構造	高野 信治	1986	31
218	九州文化史研究施設とその所蔵史料（6）	九州大学九州文化史研究施設	1986	31
219	唐津市宇木汲田遺跡における一九八四年度の発掘調査（二）	藤尾 慎一郎	1987	32
220	宇木汲田遺跡出土の弥生時代人骨	中橋 孝博・永井 昌文	1987	32
221	宇木汲田遺跡の花粉分析	野井 英明	1987	32
222	福岡市早良区有田七田前遺跡一九八五年度発掘調査	藤尾 慎一郎	1987	32
223	北部九州における初期水田：開田地の選択と水田構造の検討	山崎 純男	1987	32
224	西海道における大路（山陽道）について	日野 尚志	1987	32
225	有田焼の生成・発展と流通構造（二）：その若干の素描	丸山 雍成	1987	32
226	佐賀藩における政治思想と政治形態：文化・文政期を中心として	高野 信治	1987	32
227	徳川吉宗御用漢籍の研究：近世日本の明清史研究序説	川勝 守	1987	32
228	九州文化史研究施設とその所蔵史料（7）	九州大学九州文化史研究施設	1987	32
229	近世初期大名の「御家」について：公儀と「御家」観念の成立、竜造寺・鍋島佐賀藩を素材に	高野 信治	1988	33
230	近世豊後における天領支配	丸山 雍成	1988	33
231	高麗仏考：西日本に伝存する作品による	菊竹 淳一	1988	33
232	土器と集団（一）：弥生時代前期の集団関係	田崎 博之	1988	33
233	地下式板石積石室墓の基礎的研究	西 健一郎	1988	33
234	「立花文書」の概要	丸山 雍成	1988	33
235	清代における琉球国王の冊封	陳 大端・真栄平 房昭	1988	33
236	資料紹介：野村義一「強制収容所日記」（上）	松下 志朗・HANASHIRO Roy・LEWIS James	1988	33
237	新疆ウイグル自治区における農業：その過去と現在	西谷 正・大村 武	1989	34
238	土器と集団（二）：弥生時代前期の集団関係	田崎 博之	1989	34
239	琉球のキリスト教禁制と東アジア	真栄平 房昭	1989	34
240	近世前期の筑後久留米藩における領主財政と米穀流通	中野 等	1989	34
241	近世河川交通史の一断面（一）：利根川木下河岸を中心として	丸山 雍成	1989	34
242	給人領主と農耕祈願：佐賀藩神代鍋島領における災害除祈願の分析を素材に	高野 信治	1989	34
243	『漢文大系』について	町田 三郎	1989	34
244	俊乗房重源関係寺社の仏像調査報告：山口県佐波郡徳地町における	平田 寛・菊竹 淳一	1989	34
245	資料紹介：野村義一「強制収容所日記」（下）	松下 志朗・HANASHIRO Roy・LEWIS James	1989	34
246	朝鮮侵略戦争における豊臣政権の兵糧補給について	中野 等	1990	35

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
247	近世初期の大名権力と『走り者』返還：豊前細川氏と周辺大名について	宮崎 克則	1990	35
248	井伊直弼伝における若干の問題点	山口 宗之	1990	35
249	琉球における茶道	喜舎場 一隆	1990	35
250	琉球の近世期における朔日・十五日の行事	安達 義弘	1990	35
251	琉球王国評定所文書に関する基礎的考察	真栄平 房昭	1990	35
252	北部九州弥生社会における政治組織の検討	西 健一郎	1990	35
253	土器と集団（三）：弥生時代前期の集団関係	田崎 博之	1990	35
254	古墳出土の動物遺存体（上）：食物供献	木村 幾多郎	1990	35
255	朝田墳墓群被葬者の親族関係	田中 良之	1990	35
256	考古資料の分類作業における数量化Ⅱ類の利用例	松永 幸男	1991	36
257	古墳における儀礼の研究：木柱をめぐって	土生田 純之	1991	36
258	日本古代の土器に刻まれた初期の文字	西谷 正	1991	36
259	九州地域における中・近世の銭貨流通：出土備蓄銭・六道銭からの考察	櫻木 晋一	1991	36
260	南西諸島における弥生初期文化の様相	上村 俊雄	1991	36
261	近世における琉球・薩摩間の商品流通：一六八〇年代～一八一〇年代を中心に	仲地 哲夫	1991	36
262	沖縄における長寿者の儀礼：その現行民俗行事を中心として	安達 義弘	1991	36
263	伊豆国の郷里制について	日野 尚志	1991	36
264	近世初期の「走り者」対策と土地緊縛	宮崎 克則	1991	36
265	天領「日田騒動」とその後の農村	楠本 美智子	1991	36
266	明治・大正期における大学講習会について：九州帝国大学講演会医学講習会の場合	折田 悦郎	1991	36
267	一生心事杏花詩：元好問の杏花詩について	竹村 則行	1991	36
268	弥生時代における国・王とその構造	高倉 洋彰	1992	37
269	一石室多数埋葬の被葬者：大垣市花岡山古墳群の事例から	田中 良之	1992	37
270	慶長・元和期における外様大名の政治課題：黒田長政を事例として	福田 千鶴	1992	37
271	高知藩送番所における人馬使用方法と休泊について	丸山 雍成	1992	37
272	幕末期琉球国社会に関する覚書	上原 兼善	1992	37
273	島原藩豊州飛地における仏座問題をめぐって	後藤 重巳	1992	37
274	一九二〇年代前半期の農村統合政策（Ⅰ）：福岡県における小作争議対策の始動	木永 勝也	1992	37
275	縄文土器研究における「様式」についての覚書：小林達雄氏の様式概念をめぐって	松永 幸男	1993	38
276	「記憶」と「時間」：その葬送儀礼と社会構造の再生産において果たす役割（ポスト＝プロセス考古学的墓制研究の一つの試みとして）	溝口 孝司	1993	38
277	古墳の被葬者とその変化	田中 良之	1993	38
278	近世における大名・庶民の食生活：その料理献立を中心として	丸山 雍成	1993	38
279	近世琉球における地船海運の実態に関する史料：「多良間往復文書控」の中から	高良 倉吉	1993	38
280	南九州諸藩における「武士」と「百姓」の一揆：一揆結集の社会基盤	宮崎 克則	1993	38
281	陸軍の国家改造運動にみる中央と地方：佐々木清関連文書の検討と紹介	平井 一臣・有馬 学	1993	38
282	一九二〇年代前半期の農村統合政策（Ⅱ）：福岡県における小作争議対策の始動	木永 勝也	1993	38
283	九州文化史研究施設の新大学院への転入にあたって	丸山 雍成	1994	39

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
284	九州文化史研究施設改組の経過	田中 良之	1994	39
285	文学部附属九州文化史研究施設の沿革と現況	丸山 雍成	1994	39
286	九州文化史官制化のころ	箭内 健次	1994	39
287	施設長のころの思い出	岡村 繁	1994	39
288	新しい研究科の出発について	横山 浩一	1994	39
289	九州文化史研究所の思い出	秀村 選三	1994	39
290	文化動態論：石器組成および土器様式との関連で	澤下 孝信	1994	39
291	北九州市貫川遺跡の縄文晩期の石包丁	前田 義人	1994	39
292	墓室内飲食物供献と死の設定	田中 良之	1994	39
293	五壇法の史的研究	森 茂暁	1994	39
294	近世初頭大名家臣の知行形態と財政構造：細川家臣志水氏を中心に	吉村 豊雄	1994	39
295	享保の飢饉と藩体制の転換：福岡藩を中心に	柴多 一雄	1994	39
296	唐津藩における百姓一揆の展開と庄屋勢力	宮崎 克則	1994	39
297	近世の教学・教育機関とその理念：近代化への二つの途	丸山 雍成	1994	39
298	公財政から私財政へ：19世紀福岡藩家老三奈木黒田家の場合	楠本 美智子	1994	39
299	都市における消費問題と社会政策：1920年代の福岡県を条例にして	遠城 明雄	1994	39
300	東アジア石橋の比較技術史：中国江南虹橋と日本九州眼鏡橋における環境の役割	川勝 守	1994	39
301	榎田家蔵 稿本『大嶋筆語』訳注(1)：漂着唐船資料	菰口 治	1994	39
302	丸山雍成教授退官記念号の刊行にあたって	有馬 学	1996	40
303	九州大学旧玉泉館収蔵考古資料(1)：九州縄文時代資料(1)	九州大学大学院比較社会文化研究科基層構造講座	1996	40
304	『葉隠』に関する一考察：その思想形成の諸契機をめぐって	高野 信治	1996	40
305	日米修好通商条約締結問題と天皇	吉田 昌彦	1996	40
306	一九三二～三五年における陸軍国家改造運動の一面：佐々木清関係文書の紹介・続	平井 一臣	2000	40
307	17世紀～19世紀 村の祭礼と社会結合：福岡県宗像郡内殿の祭礼	宮崎 克則	1997	41
308	九州大学旧玉泉館収蔵考古資料(2)：九州石器資料(1)	九州大学大学院比較社会文化研究科基層構造講座	1997	41
309	日本来航唐船一覧：明和元～文久元(1764～1861)年	中村 質	1997	41
310	九州大学旧玉泉館収蔵考古資料(3)：関東縄文時代資料(1)	九州大学大学院比較社会文化研究科基層構造講座	1999	42/4 3
311	初期大名権力と財政運用形態：竜造寺・鍋島佐賀藩を素材として	高野 信治	1999	42/4 3
312	久留米藩「浪人」制度に関する基礎的考察	吉田 昌彦	1999	42/4 3
313	琉球通宝の鑄銭と安田轍蔵(上)	安藤 保	1999	42/4 3
314	史料紹介：石本家文書「天草取片付之心得書」（天保八年）	楠本 美智子	1999	42/4 3
315	柳河藩立花家小姓組/小野勘解由組分限帳	中野 等	1999	42/4 3
316	対馬宗家文書の中世史料	佐伯 弘次	1996	44
317	久留米藩「浪人」制度に関する再検討	吉田 昌彦	2000	44
318	琉球通宝の鑄銭と安田轍蔵(下)	安藤 保	2000	44
319	第二回総選挙における永江純一の遭難手記	有馬 学	2000	44
320	近世後期石本家と薩摩藩の関係について	安藤 保	2001	45

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
321	豪商石本家と人吉藩の取引関係	宮崎 克則	2001	45
322	近世中期の天草石本家の経営	楠本 美智子	2001	45
323	「対馬」からみた文禄の役	中野 等	2002	46
324	近世「寺法」に関する一考察	吉田 昌彦	2002	46
325	近世商品流通に関する一考察	楠本 美智子	2002	46
326	<史料紹介>三奈木黒田家文書中の福島正則書状について	福田 千鶴	2003	47
327	武士神格化一覧・稿：上・東日本編	高野 信治	2003	47
328	梁山泊「九州文化史研究所」：師友回想	秀村 選三	2005	48
329	「歴史」における発展・挫折・展開：九州文化史研究施設二一年を顧みて	藤野 保	2005	48
330	九州文化史研究施設の機能と廃絶過程	丸山 雍成	2005	48
331	旧「九州大学印比較社会文化研究科九州文化史資料室」の今後について	吉田 昌彦	2005	48
332	石本平兵衛の勘定所附御用達決定過程	安藤 保	2005	48
333	幕末期久留米藩の宿駅制度	吉田 昌彦	2005	48
334	明治五年筑後国生葉郡における名子の解放をめぐる	秀村 選三	2005	48
335	武士神格化一覧・稿：下・西日本編	高野 信治	2000	48
336	武士の民俗神化と伝承の共有化：「武士神格化一覧・稿」の作成を通して	高野 信治	2005	48
337	近世初期大名の農政と地域社会：細川小倉藩の場合	高野 信治	2006	49
338	肥前基肆・養父地域の太閤検地	中野 等	2006	49
339	史料紹介：草創期九州文化史研究所の史料収集活動：『採訪日記』の紹介	梶嶋 政司	2006	49
340	社会変容と訴願・改革・教諭：近世中後期対馬藩田代領の役人層と百姓	高野 信治	2007	50
341	幕末田代代官所領主向方廃止と献金システム：政治的主体の観点から	吉田 昌彦	2007	50
342	近世西海捕鯨業における鯨組の諸断面：益富組・中尾組について	秀村 選三	2007	50
343	フェートン号事件と長崎警備	梶嶋 政司	2007	50
344	外様大名領の東照宮：鍋島佐賀藩領の場合	高野 信治	2008	51
345	文化期長崎における異国船取扱法	梶嶋 政司	2008	51
346	史料紹介：富士谷文書「立花家歴代藩主書状」について	穴井 綾香	2008	51
347	史料紹介：「徴古雑抄」古文書十三（征韓文書）所収の古文書について	中野 等	2008	51
348	有馬学先生経歴・著作目録		2009	52
349	近世大名家臣の役勤と人事：福岡藩黒田家を事例に	高野 信治	2009	52
350	政治施設としての学習院の成立	吉田 昌彦	2009	52
351	立花鑑虎の実名と花押	穴井 綾香	2009	52
352	史料紹介：文化元年ロシア使節レザノフ来航関係史料：福岡藩家老三奈木黒田家文書『魯西垂船渡来記』	梶嶋 政司	2009	52
353	「取り沙汰」される「唐入り」	中野 等	2010	53
354	史料紹介：富士谷文書「八代記」について	穴井 綾香	2010	53
355	史料紹介：九州大学所蔵の慶長五年石垣原合戦関係軍記史料について：寛文三年成立「黒田如水記」を中心に	守友 隆	2010	53
356	林田家文書目録（第二次調査）		2010	53
357	学習院建言制度と勤務規定	吉田 昌彦	2011	54
358	もう一つの「名利」：「奉公人」の「立身」：『葉隠』の葛藤	高野 信治	2011	54

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
359	元禄期における長崎町年寄の家督相続	梶嶋 政司	2011	54
360	史料紹介：「小倉合戦風説書」巻一～四：慶応二年（一八六六）の長州戦争（小倉戦争・小倉口の戦い）を題材とした軍記史料	守友 隆	2011	54
361	『御請下書』と幕藩制国家の「王権」システム	吉田 昌彦	2012	55
362	山崎尚長の『両国王辰実記』と刊本『正実 朝鮮征討始末記』	中野 等	2012	55
363	史料紹介：九州帝国大学法文学部草創期の在外研究員	梶嶋 政司	2012	55
364	確立期幕府の王権認識	吉田 昌彦	2013	56
365	唐入り（文禄の役）における加藤清正の動向	中野 等	2013	56
366	九州帝国大学法文学部草創期の文庫形成と在外研究員	梶嶋 政司	2013	56
367	近世の武士と知行	高野 信治	2014	57
368	近世九州における永代下人に関する一考察	秀村 選三	2014	57
369	長崎町人の新田開発・「預ヶ銀」と天草石本家	梶嶋 政司	2014	57
370	昭和戦前期にいたる「朝鮮出兵」関係文献目録（稿）	中野 等	2014	57
371	東照宮信仰に関する一考察：王権論に関連させて	吉田 昌彦	2015	58
372	藩領社会の人々とくらし：大村藩『郷村記』の分析を中心に	高野 信治	2015	58
373	豊臣政権の関東・奥羽仕置：続論	中野 等	2015	58
374	近世九州における永代下人に関する一考察：続	秀村 選三	2015	58
375	近世天草における土地問題	梶嶋 政司	2015	58
376	大坂冬の陣開戦までの西国大名の動向：黒田長政・島津家久を中心に	福田 千鶴	2016	59
377	フェートン号事件の社会史：長崎町乙名と市中御備新田経営	梶嶋 政司	2016	59
378	竹内理三教授の incoming 文書調査への随行とその後	秀村 選三	2016	59
379	遊覧雑藁 巻之二	須佐 弘美	2016	59
380	近世寺法に関する素描：「王権論」の立場から	吉田 昌彦	2017	60
381	近世辞書『俚言集覧』にみえる〈障害〉表現：類型・認識の析出	高野 信治	2017	60
382	福岡藩の浦方支配と浦水夫：長崎立浦水夫を中心に	梶嶋 政司	2017	60
383	若い日の九州文化史研究所の思い出	秀村 選三	2018	61
384	「九州文化史」アーカイブ事始め	梶嶋 政司	2018	61
385	近世仏教説話にみる〈障害〉	高野 信治	2018	61
386	漁場争論からみる近世・明治前期の博多湾内海漁業：箱崎浦庄屋・大庄屋山崎家文書を中心に	梶嶋 政司	2018	61
387	史料紹介：竹田文庫伝来加藤嘉明宛書状	福田 千鶴	2018	61
388	病傷治癒信仰のなかの武士：〈治癒神〉という見方	高野 信治	2019	62
389	加藤忠廣の基礎的研究：附 飯田覚資料の翻刻・紹介	福田 千鶴	2019	62
390	清原良賢の贈位をめぐる：『康富記』の書き替えを手がかりに	井手 麻衣子	2019	62
391	近世的殖産政策の生成と展開：幕末維新期の備中一橋領を事例にして	古賀 康士	2019	62
392	小倉藩の手永大庄屋制に関する史料論的考察	梶嶋 政司	2019	62
393	江戸城本丸女中法度の基礎的研究	福田 千鶴	2020	63
394	幕藩制の揺らぎと長崎	松尾 晋一	2020	63
395	戦後九州大学セツルメントの活動と学生意識：一九五〇年代後半、再建期を中心に	赤司 友徳	2020	63
396	史料紹介：小倉藩豊前国田川郡金田手永大庄屋の『日記』：金田泰恒『天明二年壬寅日記』	梶嶋 政司	2020	63

No.	タイトル	著者	刊行年	巻号
397	筑前国怡土郡井原村三苦家文書について：付・三苦家文書（本家）仮目録	古賀 康士	2020	63
398	永正年間の補任歴名について	井出 麻衣子	2021	64
399	史料紹介：檜垣文庫蔵「忠之代編輯日記」の紹介	福田 千鶴	2021	64
400	史料紹介：豊前小倉藩領田川郡金田手永大庄屋の『日記』：金田泰恒『天明三癸卯日記』	梶嶋 政司	2021	64
401	史料紹介：肥前國小川島捕鯨の関係史料：九州大学経済学部古文書より	古賀 康士	2021	64
402	石門心学道話にみる〈障害〉の比喩化：狂言台本の題材化との比較	高野 信治	2022	65
403	高台院（浅野寧）に関する素描五点	福田 千鶴	2022	65
404	豊前小倉藩領田川郡金田手永大庄屋の『日記』：金田泰恒『天明四甲辰日記』	梶嶋 政司	2022	65
405	仕事の足跡：高野信治先生業績目録	高野 信治	2022	65
406	小出秀政に関する基礎的研究	福田 千鶴	2023	66
407	史料紹介：嘉永六年の太平天国の乱情報の流通：吉田松陰の「燕都流言録」を中心に	守友 隆	2023	66
408	史料紹介：豊前小倉藩領田川郡金田手永大庄屋の『日記』：金田泰恒『天明五乙巳日記』	梶嶋 政司	2023	66
409	九州文化史研究所『事務記録』（昭和二十五年度）の紹介	梶嶋 政司	2023	66
410	目録：天草崎津文書目録	梶嶋 政司	2023	66